

2024年度 同志社大学商学部父母会・政策学部 「父母のための就職セミナー」(報告)

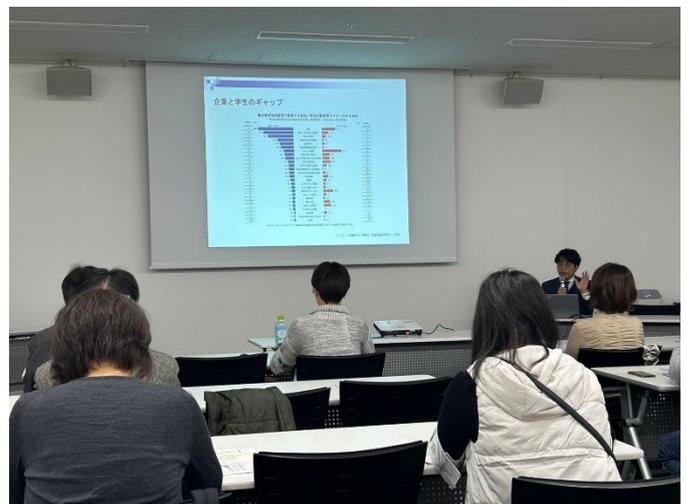
日時 : 11月30日(日曜日) 13:00~15:00
場所 : JR博多シティ会議室
参加者 : 同志社大学 商学部 浅原事務長、政策学部 辻事務長
保護者参加者 商学部15名、政策学部8名

1. 2024年就職活動動向 ご父母の皆さまのご支援

就職エージェント九州パートナーコンサルタント 望月 秀樹 氏

就職活動の市場として、年々、就活のスタートが早くなっている傾向にあること、学生と企業の面接での重視している内容のギャップがあること、Uターンに就活における問題点などをお話しくださしました。

また、就職活動においては、早めの準備で不安などを解消しておくことが大切で、志望動機のポイントや、面接において「採用側の立場になって考えることが大切だ」などのアドバイスをいただきました。これから就活を行うために、多くの企業に目的意識をもって会社訪問することの大切さについても教えていただきました。



2. 企業の人事担当者による講演

株式会社カスタネット 総務人事部長 濱坂 弘一 氏



「採用担当者から見る近年の就職・採用状況」という内容でご講演いただきました。IT人材はこれからの重要な社会インフラを支える職種で、今後、79万人のIT人材が不足する可能性があり、2025年卒の学生が志望した業界は、文系・理系ともに、IT業界が男女ともに人気の高い業界であるという現在の状況をご説明くださいました。

そのうえで、IT業界が求める人物像、エンジニアの役割と必要な能力、選考プロセスにおける重視ポイント、採用における文系・理系の比率などを企業の採用側の立場から詳しくお話しいただきました。

3. Uターン就職支援と公務員試験について

福岡県若者就職支援センター 篠田 真由美 氏

厚生労働省が発表した調査によると、就職後、3年以内の離職率が大学卒で32.3%にもものぼり、そうなる次ステップに進むことが難しくなるという事実を教えていただき、就活前・就活中に、会社の取り組みや、先輩社員の実際の声を聞くことや、働く環境の情報を集めることの大切さを教えていただきました。また、福岡県の企業の取り組みや、福岡県子育て応援宣言企業、合同説明会やセミナーを探せるサイトについてご紹介くださり、若者支援センターがエントリーシートや履歴書の書き方、模擬面接など、就活に役立つお手伝いをしてくださるとのお話がありました。



4. 就職活動体験談

政策学部卒業生 江川 なつき さん



ご自身が熊本地震を体験されたことによる「社会を根幹から支えたい」という思い、日経新聞などから心を動かされた「時代の先駆け施策を行う会社」、「自由闊達な雰囲気な職場」「勤務地の選択」などを就職活動の軸として考えて活動を行ったとのことでした。その中で、OB・OG 訪問を通し、会社の雰囲気や実際の仕事内容を知ることができたことは新しい気づきもあり大切だと教えてくださいました。また、就職活動のスケジュール、参加したインターンや面接などの詳細、内定先を決めた理由、就職活動での後悔したことなども丁寧にお話くださり、これから就職活動を行う学生の保護者にとって、大変有益な内容でした。

同志社大学のキャリア支援と就職状況について

同志社大学政策学部事務室 事務長 辻 憲一 氏

現在の就職環境と同志社大学の就職状況、2020年～2023年までの商学部・政策学部の主な就職先企業のご紹介くださいました。また、就職活動を行うにあたり、就活中の反省点のアンケートもご紹介くださり、早めにWebテスト対策などをやっておくといったアドバイスをいただきました。また、同志社大学のキャリア支援について、1年生からでも参加できるプログラムもあることや、ゼミ履修はオススメであるということもご説明くださいました。また、保護者に関しては、「親の世代の職業観はおしつけず、理解してあげること」が大切であるということを教えていただきました。

